

YU7

YU-INFORMATION

2012 JULY No.108

山口大学広報誌

山口大学キャンパスツアー

キャンパスマスタープラン 2011 より

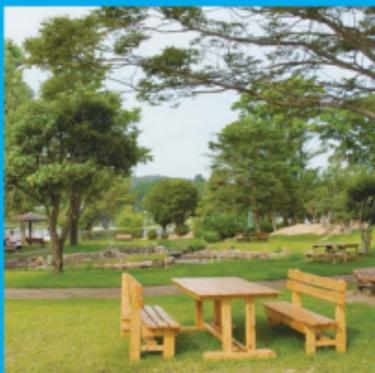
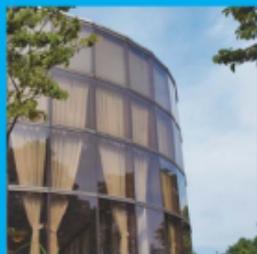
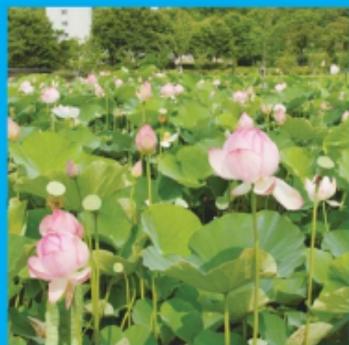
山口大学がこれから目指す快適なキャンパスとは

学生生活をサポートする施設

学生オススメ癒されスポット

平成 23 年度おもしろプロジェクト

活動報告から見るプロジェクト事例





YU-INFORMATION
2012 JULY No.108



「志」つなぎ 伝える 二百年

山口大学は、長州藩士・上田鳳庵によって1815年に創設された私塾山口講堂を起源とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に、地域における高等教育および学術研究の中核たる新制大学として創設されました。来る2015年には、山口講堂創設から創基200周年を迎えます。

山口大学は、地域に根差した大学として、さらなる充実と飛躍を期し、次なる100年をより有意義なものにするための記念事業を計画しています。



「志」つなぎ 伝える 二百年
創基 200周年

山口大学

<http://www.yamaguchi200.jp/>

テーマ

山口大学キャンパスツアー

新入生は、自分のライフスタイルが確立され、
キャンパス内でも居心地の良い場所を見つけて、
思い思いの時間を過ごしているのではないのでしょうか。

本学のキャンパスは、学生だけでなく教職員、
地域の皆さんにも開かれた場所であり、
全ての方にとって、より快適なキャンパスになるよう
様々な計画が立てられています。

そこでYU-INFORMATION7月号では、

本学のキャンパス環境の魅力と

これから目指す快適なキャンパスに向けての計画について
ご紹介します。

CONTENTS

■特集1	01
山口大学キャンパスツアー	
キャンパスマスタープラン 2011 より	
「山口大学がこれから目指す快適なキャンパスとは」	
学生生活をサポートする施設	
学生オススメ癒されスポット	
■特集2	06
平成23年度おもしろプロジェクト	
活動報告から見るプロジェクト事例	
■連載企画	08
考える就職活動	
[平成24年度 第2回] 就職支援を仕事にすること	
■年間企画	09
NEWS & TOPICS	
こちら YU-PRSS !	

YU INFORMATION

ライクインフォメーション
山口大学広報誌 第108号
山口大学広報誌 第108号
山口大学総務部広報課
〒750-8511 山口県山口市吉田 1677-4
TEL 083-833-5007 FAX 083-833-5013
E-MAIL: yu11@yamaguchi-u.ac.jp
URL: <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

編集発行/山口大学広報委員会

各学部長(理学系・経済学系) / 中野法彦(人文学部) / 菊澤浩吉(教育学部) /
平山孝一(経済学部) / 水内 浩(法学部) / 大和田浩二(医学部) /
山本崇夫(工学部) / 竹尾重子(農学部) / 遠谷雅弘(人間健康学部) /
岡本隆(大学院教育学部) / 平井孝隆(大学院法政学研究所) /
小川真由美(大学院情報学) / 高平直樹(ロクステンションセンター部) /
高橋 隆(アドミッションセンター部) / 岡山真生(大学院経済情報学研究所) /
橋本健吾(国際交流課)

企画・編集・撮影・デザイン/マルニ
印刷/マルニ

キャンパスマスタープラン2011より

山口大学がこれから目指す 快適なキャンパスとは

山口大学キャンパス マスタープランとは

平成16年4月の国立大学法人法の施行により、国立大学が法人化したことで、自らのイニシアチブにより戦略的にキャンパスの整備を行うことが可能になりました。

山口大学では、平成18年10月に「山口大学キャンパスマスタープラン2006」を策定し、長期的視点に立って整備を行ってきました。この度、第2期中期目標・中期計画の達成に向けてキャンパスマスタープランを見直し、法人化後の施設整備における成果を検証すると共に、長期的な整備の方向性と計画を示した「山口大学キャンパスマスタープラン2011」を策定しました。

施設整備の 整備方針・活用方針

整備にあたっては、安全安心な教育研究環境を確保するとともに、教育研究成果がより見込まれる事業から重点的に施設整備を推進します。

(1) 知の広場にふさわしい個性ある キャンパス

海外から見ても魅力ある研究環境や生活環境の整備、専門的な教育機能に対応した施設整備を推進します。山口大学の個性や特性を生かした教育研究機能を充実する基盤整備を進めます。また、最先端の医療に対応した附属病院の計画的な整備を推進します。

(2) 地球環境にやさしいキャンパス

老朽施設のエコ再生、再生可能エネルギーの導入など、最先端の環境

対策を講じた施設を整備します。また、キャンパス内の池、広場等の保存を行い、緑空間の充実を図り、アメニティ向上を目指します。

(3) 安全で安心できるキャンパス

老朽化した施設の再生整備、耐震性能の劣る施設の改善を計画的に進めます。災害時に対応した基幹整備（ライフライン）の改善整備を進めます。

(4) 施設マネジメントの推進

整備項目に対し、適切な優先順位を付して施設の維持管理、補修を行います。管理運営コストを考慮し、最小投入費用で最大効果を目指します。また、先進的な研究プロジェクトや若手研究者等の研究スペースの拡充や機能向上を図ります。



吉田キャンパス計画

Yoshida Campus Plan

①パブリックスペース計画

吉田キャンパスには、大賀蓮の池、ピオトープ、大学会館前芝生広場、共育の丘、葛蒲池、遺跡保存公園といった学生や教職員、地域住民が憩うパブリックスペースがあります。

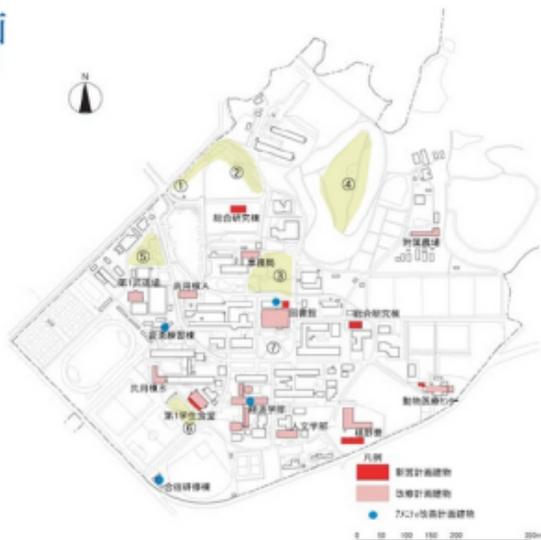
共通教育、各学部を中心に位置する図書館前のスペースは、現在、自転車置場等になっており、キャンパスアメニティ向上につなげるため、このスペースを教育研究ゾーンの中心的なパブリックスペースと位置づけ、放置自転車を排除すると共に、交流の場、憩いの場となるように整備していきます。

今後、既存の整備されたスペースは、環境の価値を認識し、優先して良好な状態で維持管理していきます。

②施設整備計画

吉田キャンパスは、安全安心の観点から耐震基準を満たさない図書館など、8棟の耐震改善や建設後25年経過し、機能劣化が著しい建物の教育研究活動状況にみあった機能改善が急がれます。整備にあたっては、安全安心な教育研究環境を確保するとともに、教育研究への効果がより見込まれる事業から最優先で整備を推進します。

また、整備後25年経過し、改修歴がなく、学生等がよく利用する建物のトイレを重点的に改修を行い、アメニティの向上を図っていきます。



①大賀蓮の池



②ピオトープ



③大学会館前芝生広場



④共育の丘



⑤葛蒲池



⑥遺跡保存公園



⑦図書館前広場

(イメージ図)



小串キャンパス計画

Kogushi Campus Plan

①パブリックスペース計画

小串キャンパスは、まとまった緑地はとれませんが、敷地南側の部分と外来診療棟前ロータリー内のポケットパークを構内のパブリックスペースとして位置づけ、患者、学生、教職員、地域住民の潤いの場として、一層パブリック性を高めていく計画とするとともに、ホスピタルパークとして隣接する真綿川の河川公園を活用していきます。

②施設整備計画

医学部については、老朽化、狭隘化が進行している建物が多数あり、また耐震基準を満足していない建物も存在しているので改善が必要です。

附属病院については、計画的に医療に対する社会的ニーズの多様化、医療の高度化等に対応した整備を推進します。



①敷地南側部分



②ポケットパーク



③河川公園

常盤キャンパス計画

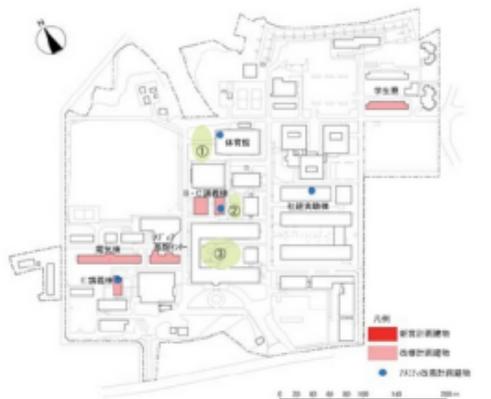
Tokiwa Campus Plan

①パブリックスペース計画

現在、常盤キャンパスには、体育館前バーゴラ、講義棟前中庭、工学部本館中庭のような学生、教職員、地域住民が憩うパブリックスペースがあります。体育館前バーゴラ、講義棟前中庭のパブリックスペースは、講義棟周辺に位置しており、ベンチ等を増設して、さらに交流の場、憩いの場となるように整備していきます。

②施設整備計画

常盤キャンパスは、耐震基準を満たさない建物2棟(電気棟、E講義棟)や建設後25年経過している教育研究活動を支える建物の老朽改善が急がれます。



①体育館前バーゴラ



②講義棟前中庭



③工学部本館中庭

(イメージ図)

学生生活をサポートする施設

校内には様々な施設がありますが、その中から学生生活を学習の面からサポートしてくれる図書館、食事の面からサポートしてくれる学生食堂、生活の面からサポートしてくれる学生寮について紹介します。

図書館

図書約 165 万冊、雑誌約 3 万タイトルを所蔵。蔵書検索システムで必要な資料を検索することができます。学生を学習の面からサポートしてくれます。

◆総合図書館—吉田キャンパス

座席数は約 900 席。各机にはノートパソコンが接続できる情報コンセントを設置。パソコン (60 台) やプリンターを備えた情報ラウンジ・演習室では、インターネットを自由に利用できます。10 名程度が利用できるグループ学習室や友人と話しながら学習できるブラウジングルームもあります。

※医学部図書館及び工学部図書館にもほぼ同様な施設・設備があります。
開館時間 / 月～金 8:30～21:45、土・日・祝 11:15～18:45

※総合図書館は耐震改修工事のため、平成 24 年 8 月から休館、または部分開館となります。
(平成 26 年 4 月に新装オープンの予定)

◆医学部図書館—小串キャンパス

開館時間 / 月～金 8:30～19:15、土・日・祝 13:15～16:45

(休業中は、平日 8:30～17:30)

◆工学部図書館—常盤キャンパス

開館時間 / 月～金 8:30～21:45、土・日・祝 11:15～18:45

(休業中は、平日 8:30～17:30)



総合図書館

学生食堂

安く栄養もボリュームも満点なのが学生食堂。営業時間が長いので、朝食や夕食としても利用できます。学生を食でサポートしてくれます。

◆第 1 学生食堂「ポーノ」

—吉田キャンパス

季節限定、期間限定メニューの企画があります。席数は 472 席 (うち屋外 104 席)。

営業時間 / 月～金 8:00～20:00、土 10:00～14:00 (長期休業中は縮小営業)

◆第 2 学生食堂「きらら」

—吉田キャンパス

メインのおかずを選んで、惣菜はバイキング形式 (量り売り)。席数は 528 席。

営業時間 / 月～金 8:00～19:30 (長期休業中は縮小営業)

◆心館食堂—小串キャンパス

食堂の他、フードショップや売店もあります。席数は 196 席。

営業時間 / 月～金 8:00～19:30

(長期休業中は縮小営業)

◆工学部食堂—常盤キャンパス

工学部福利厚生棟にある食堂。席数は 320 席。

営業時間 / 月～金 8:00～20:30、土 11:00～14:00 (長期休業中は縮小営業)



第 1 学生食堂「ポーノ」

学生寮

吉田キャンパスの学生向けの吉田寮 (男子)、榎野寮 (女子)、小串・常盤キャンパスの学生向けの常盤寮 (男子・女子) があり、学生の生活をサポートしてくれます。

◆吉田寮 1 号棟・2 号棟 (男子)

—吉田キャンパス

寄宿料 (月額) / ①16,500 円、②24,300 円
入寮費 (入寮時のみ) / 20,000 円
諸経費 (月額) / 500 円～
※① 1 号棟、② 2 号棟

◆榎野寮 (女子)—吉田キャンパス

寄宿料 (月額) / 700 円

入寮費 (入寮時のみ) / 10,000 円

諸経費 (月額) / 10,000 円

◆常盤寮 A 棟・B 棟 (男子)

—常盤キャンパス

寄宿料 (月額) /

①4,300 円、②16,500 円

入寮費 (入寮時のみ) /

①3,000 円、②20,000 円

諸経費 (月額) /

①8,000 円、②1,000 円～

※① A 棟、② B 棟

◆常盤女子寮 (女子)

—常盤キャンパス

寄宿料 (月額) / 24,300 円

入寮費 (入寮時のみ) / 20,000 円

諸経費 (月額) / 1,000 円～



吉田寮

学生オススメ癒されスポット

友人と語り合ったり、本を読みながら過ごしたり、勉強や研究の合間にはっと一息つく…。そんなお気に入りの場所が皆さんあるのではないのでしょうか。そこで、在学生が推薦する学内癒しの場を紹介します。

在学生を対象に、学内にあるお気に入りの場所について、アンケートで聞いてみました。理由は様々ですが、皆さんどこか落ち着ける場所を持っているようです。

- ①学部・学科・学年
- ②好きな場所は？
- ③その理由

①人文学部言語文化学科1年
②講義時間中の共通の空き教室
③講義がある時間帯なので学内全体が静かで、ゆっくり過ごせるから。一人で次の講義の予習をしています。

①経済学部経営学科2年
②人文学部棟の前の広場、共通教育棟の売店のラウンジ、図書館
③広場はきれいで落ち着くから。ラウンジは気軽に立ち寄って居心地もいいから。図書館は憩いの机から見える桜が最高だから。

①理学部生物・化学科1年
②理学部裏の掲示板付近の休憩所
③掲示板が近くにあるため、屋根があり、直射日光にさらされないから。あまり人の行き来がないため、静かです。

①理学部物理・情報科学科2年
②喫煙所、図書館
③喫煙所では、タバコを吸いつつ、コーヒーを飲んで一息ついていきます。図書館は静かで、本を読むのに集中できます。どちらもリラックスするのに適しています。

①理学部物理・情報科学科2年
②第2学生食堂「きらら」
③広くて清潔感があり、安価で美味しい食事ができるから。バイキングやパンもあり、バリエーションが豊富です。理学部棟からも近くて、空き時間など、ちょっとした時間にも行きやすいです。

①工学部社会建設工学科1年
②第1学生食堂「ポーノ」
③いろいろな人と会えて、いろいろなものを食べることができるから。

①工学部応用化学科1年
②第1学生食堂「ポーノ」
③友達と話せるから。

①農学部生物機能科学科2年
②第2学生食堂「きらら」
③おいしいスイーツがあるから。何人かで集まって勉強して、お腹が減ったら食事ができる最高の場所。



山口大学オリジナル商品

- 山口大学生協同組合 [吉田・小串・堂野キャンパス]
TEL:083-933-0611, 0836-22-5067, 0836-35-4433
- (有)大学文具 [吉田キャンパス:教育学部売店、共通教育棟売店]
TEL:083-922-3462, 083-922-8598
- 文具フレンド米田 [吉田キャンパス:農学部売店]
TEL:083-923-4081



学長せんべい

学長の似顔絵入り鶏卵せんべい。価格は1箱(3枚1袋×12袋入り)630円。



山口大学ブランド日本酒「長州学舎」

農学部附属農場で栽培した酒米を使ったお酒。純米大吟醸2,500円、純米酒1,350円(各720ml)。



山口大学まんじゅう

おもしろプロジェクトから誕生したレモン味のまんじゅう。価格は6個入り1,150円。



山口大学ロゴ入り文具各種

ロゴ入りボールペンやノート、ファイルなど、様々な山大グッズがあります。

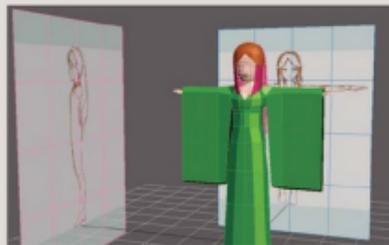
活動報告から見るプロジェクト事例

本学の特徴的な取り組みである「おもしろプロジェクト」、学生の自由な発想による自主的活動へ資金支援する制度で、毎年ユニークなプロジェクトが進められています。昨年度採択された団体から、2つの団体の活動報告を通して、おもしろプロジェクトの事例を紹介します。

取組事例① 山口昔話（平成23年度中期プロジェクト）

■プロジェクトの概要

山口の昔話と聞かれて、すぐに答えられる人は少ないと思います。山口大学そばの姫山に「姫山伝説」という昔話がある事も、知らない人がほとんどです。このプロジェクトは、そんな山口の昔話を集め、デジタル絵本にするプロジェクトです。パソコンや携帯電話からいつでも気軽に見ることのできるデジタル絵本を作ること、山口大学を中心に『山口昔話』を多くの人に知ってもらい、山口をもっと好きになってもらおう！というものです。



〈平成23年6月の報告より〉

最初の活動として、図書館に行き山口の昔話に関する文献を調べました。文献を読むと、山口の昔話が予想していたよりも多かったため、まず、文献の昔話の題名を書き出し、重複している話と発祥の地域を分類しました。それから、あらすじを簡単に書き出した後、地域が分散されて、その土地に縁が強いものを基準に昔話を選定しました。



〈平成23年8月の報告より〉

最初に作成する昔話を「姫山伝説」に決め、資料を様々な文献で調べたり、いろいろな人が書いた姫山伝説を読み、物語を書ていきました。そして、登場人物のキャラクターデザインを行いました。キャラクターは3Dにしています。その後、絵コンテを描き、背景は写真を加工して作成し、FLASHを使って動かしていく予定です。



〈最終報告より〉

自分たちでデザインしたキャラクターを3D化し、山口県内の写真などを加工した背景のFLASHを製作、動きのあるデジタル絵本となりました。絵本は携帯電話からのアクセスを意識して作製し、ホームページ上に公開し、誰でも閲覧できるようにしました。

今後は、他のコンテンツも作製し、充実させていきたいと考えています。





取組事例② Reチャリクル（平成23年度中期プロジェクト）

■プロジェクトの概要

山口大学では放置自転車という問題が存在しています。そこで、環境サークル・エコファイターズでは、2009年秋から、不要自転車の再利用対策として「Reチャリクル」の活動を始めています。この活動は、不要になった自転車を、卒業生などから譲り受け、希望する学生に貸し出すというものです。この活動によって学内の放置自転車の問題を改善するだけでなく、学生の環境意識を高めてもらうことも目標としています。

<http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~ecof/>



＜平成23年5月の報告より＞

工学部の体育館裏には学生支援係の方が回収した放置自転車が20台ほど並べられています。それを何とかReチャリクルとして使えないかと、学生支援係や宇部警察署に相談に行きました。警察からは放置自転車は盗難車でないかどうか確認が必要で、その後の拾得物扱いでの保管を経て、取得できるという話を聞きました。

＜平成23年9月の報告より＞

夏休みの期間は活動をしていなかったため、学内の放置自転車の問題がそのままとなっていました。8月に学生支援係の方が工学部内の放置自転車を一箇所に収集したものが約80台ありました。その中ですぐに使えそうな自転車やバンク修理やサビ落としなどをすれば使える自転車をReチャリクルとして8台選び、放置自転車の防犯登録番号などを調査しました。

＜最終報告より＞

再利用した自転車のバンク修理やブレーキ調整をし、今年度は8台の自転車を貸し出しました。

その他にも、宇部市自転車商組合の協力のもと、自転車の無料点検を実施したり、環境イベントにも参加し、地域住民に対しても自転車マナーや交通ルールについて呼びかけました。

今後は卒業生へ不要自転車提供の呼びかけや学内放置自転車の活用にも着手していきたいと考えています。



2012年度 卒業生 ありがとう企画

Reチャリクル

卒業で乗らなくなった自転車は後輩へ

学生が卒業する際に、不要になった自転車を、後輩に貸し出すという取り組みです。卒業生から自転車を譲り受け、希望する学生に貸し出すというものです。

2012年度 卒業生 ありがとう企画

お問い合せ先: ecoflight@gmail.com (エコファイターズ)

考える就職活動

就職支援を仕事にすること

センパイたちはどんな仕事に就いているの？

どんなふう働いているの？

そこで、「考える就職活動」平成24年度第2回目は、山口大学を卒業後、厚生労働省に入省しハローワークを中心に労働に関する現場でご活躍される竹村朋之さんに現在の仕事に就いたきっかけやこれから就職活動に励む学生に向けてアドバイスを伺いました。

Q1.現在の仕事に就いたきっかけは？

A. 周りは営業職に就く先輩が多かったのですが、達成目標とかノルマをこなしていく仕事は自分には向いていないような気がして、公務員なら自分が生かせるかと思いました。また、「働く」という生活に密着したテーマに対して、自分なりにお手伝いできれば、今の仕事に就きました。

実際に入省してみて、数字的な目標を求められることが多く、予想外に残業も多いというのが正直な感想です。最近では、職員も減って仕事の負担が増える一方で、公務員を目指す学生さんは、その点を頭に入れておいてほしいと思います(笑)

Q2.仕事で心がけていることは？

A. 窓口業務なので、「また利用してみたい」「この人をまた頼ってみたい」と利用者にも思ってもらえるような雰囲気づくりを心がけています。実際そう出来るかどうかは疑問ですが…。また、「優先順位」を考えながら仕事をするようにしています。この作業をまずやらないと、他の部門のあの作業が滞ってしまうとか、そういったことを考えながら仕事をすることが「組織」の中では大切なことだと思います。

Q3.学生へメッセージをお願いします。

A. すでに「やりたい仕事」が決まっていたり、これからの大学生活の中で「やりたい仕事」にめぐり逢うことができた、理想的ですね。「やりたい仕事」にめぐり逢うためには、できるだけ多くの情報を収集したり、アルバイトなどを通じていろいろな体験をしたり、あるいはその仕事に携わっている人たちの話をいろいろ聞いてみる必要があります。「やりたい仕事があったら(夢)、その仕事ができ



竹村 朋之 Takesuki Tomoyuki

山口県宇部市出身。山口大学経済学部経営学科を卒業。平成15年に厚生労働省に入省。県内各地のハローワークで、職業相談や求人受付、雇用保険の給付などを担当。現在、ハローワーク宇部で管内の中学生・高校生・大学生の就職活動を担当している。

(能力)、その仕事をやりぬく(実現)・・・これがベストな職業人生だと思います。

でも、「やりたい仕事が見つからない、道職が分からないから就職活動が進まない」という方もいらっしゃるかもしれませんが、最初から、自分にどんな適性があるか、潜在能力があるかなんて、なかなか分からないものです。社会で働いている人の中には、仕事を積み重ねるうちにやりたいことが明確になり、その能力を伸ばしていく人もたくさんいます。「やりたい仕事が見つからない、道職が分からない」と立ち止まらずに、とにかく前へ踏み出してみる気持ちが大切だと思います。

それから「企業の求める人材」という言葉を聞いたことがあると思います。それは業種・職種によっても違いがありますが、一般的には「コミュニケーション能力」「行動力」「柔軟性」「忍耐力」などが挙げられます。でも、最初から全てを兼ね備えている「完璧人間」なんていないでしょう。職場環境や経験によって人は「変わる」とも思います。それに企業側も、即戦力として機能できるかどうか、求めているものを兼ね備えているかを、面接等で全て把握するのは無理です。「マニュアル通りの受け答えしかできない学生さんが増えている」という話を企業からよく耳にしますが、求める人物像を意識しすぎずあまり、自分を取り繕いすぎているせいかもしれません。型にはまることなく、「ありのままの自分」を「ありのままの言葉」で表現できる学生さんに魅力を感じる企業も多いはず。失敗を恐れず、どんなに自分らしさをアピールしてはほしいと思います。期待しています。



就職関連情報

■キャリアを学ぶ！1Day学習会

キャリアを学ぶ実践プログラム「夏学期×アサメント」
 (株) 互子社の女性経営者とアサメント(株)の採用プロ
 コンサルタントによる、就職活動に必要な「マインド」/スキル
 が身にいく特別セミナーです。

■日 時：平成24年8月6日(月)10:00～17:00

■場 所：大会館2F 両会議室

■申込方法：就職支援室までお申し込みください

(先着30名)

■経営者からビジネスを学ぶトップセミナー

県内企業の経営者の方から、自社のビジネスの現状と
 課題、将来ビジョンをお話いただき、「働く」というこ
 とを一線に考えます。

■日 時：平成24年8月7日(火)13:00～16:00

■場 所：共通教育棟 2F 第2教室ほか

■申込方法：就職支援室までお申し込みください

(先着40名)

■県庁選抜および大学選抜キャリア形成ワークショップ2012

■経営者からビジネスを学ぶトップセミナー

県庁3年生(大学院1年生を含む)を対象に、夏休みの時
 間を活用し、九州を代表する30社企業の人事担当者と
 その担当者を中心に、就職大学の学生が交流しながら、将来
 について考え、かつ将来への意欲を高めるセミナー
 ショップを開催します。

■日 時：平成24年9月28日(金)13:00～17:30

■場 所：AMビル会議室(北九州市小倉北区浅野3-4-1)

“Yamaguchi University Public Relations Student Staff”略してYU-PRSS(ユープラス)。
「山大学生のあなた(YOU)にも、そうではないあなた(YOU)にも“プラス”になる情報を届けたい」との
想いを込めて名付けられました。現在13人のメンバーにて、山口大学の広報活動を行っています。

NEWS&TOPICS

私たち学生スタッフが、山大的最新の話題やニュースをお届けします!

01

<『創基200周年』情報>

第1回創基200周年記念基幹シンポジウムを開催!

平成24年6月1日(金)、吉田地区の大学会館をメイン会場とし、「山口大学創基200周年記念基幹シンポジウム：創基200周年これからの山口大学を語る」を開催しました。同シンポジウムの様子は、遠隔配信により、小串地区および常磐地区に配信しました。

上記シンポジウムの最初に、創基200周年記念の一環として実施した、今の山口大学を後世に残していくことを趣旨とした、『第1回フォトコンテスト「写真で読もう!山大全う」〜山口大学の“今”を永遠に〜』で金賞、銀賞および銅賞を受賞者への授賞式を実施しました。

次に、総務理事・副学長(教育学生担当)による、「山大事地」上田風庵から学都山口へ〜いま、なぜ200周年なのか〜と題した、本学の200年を振り返り、上田風庵先生が設立された山口講堂から現在までの歩みについて、基調講演が行われました。

最後に、西田理事・副学長(総務企画担当)をコーディネーターとし、各学部長および医学部附属病院院長をパネリストとしたパネルディスカッション「200周年とこれからの山口大学」を行い、本学の10年後の展望、現在の学生の現状、教育のあり方などさまざまな点に関する活発な議論が交わされました。

この第1回創基200周年基幹シンポジウムは、各地区の合計で200名近い参加があり、また、Webページでのインターネットライブ配信では多くのアクセスがあり、内容の濃い重要なあるシンポジウムとなりました。

今回のシンポジウムは、2015年を迎える本学の創基200周年に向けて、さらに進捗が高まるものとなり、今後の創基200周年記念事業に関する様々な取り組みが活発になるひとつの契機となりました。
[創基200周年HP] <http://www.yamaguchi200.jp/>



02

経済学部職業会計人コースが
専門英語強化プロジェクトを実施

昨今の日本企業による外国企業の買収合併の増大や、国際会計基準の導入に伴い、大手監査法人および大手税理士法人においては、会計・税務の専門的知識に加えて、TOEIC等英語の重要性が高まっています。

このため、経済学部職業会計人コースでは、基礎・基幹的な英語の授業に加えて、交換留学生等との英会話教室等実践的な教育を実施しています。今年度から、英語教育で評価の高いフィリピン語学学校に、会計・税務の専門的知識を身に付けた学生を短期留学させることとし、第一陣として、会計士試験に合格した中村唯さん、吉田雄志さん、税理士簿記に合格した山根結志さんの3名が2ヶ月間の海外留学で日々特訓中です。

なお、帰国後にはTOEICを受験し、その成果を確認します。

就職の際など、英語能力が当然のように必要とされつつある中、経済学部では英語能力向上のための取り組みを積極的に展開し、学生を支援しています。



03

福屋留學生センター長
が著書を出版

留學生センター長を務めている福屋利雄教授が、このたび著書を出版されました。

著書名は「ロックンロールからロックンロールへ〜その文化変容の軌跡〜」であり、「約束の地〜The Promised Land〜」をキーワードにしてアメリカの移民史とロック史との関係を、音楽社会学の視点から読み解くというものです。さらに具体的にいうと、「ロックンロール」と「ロック」は、一般的には同義と捉えられてしまいがち、その二つの音楽の生誕地であったアメリカの音楽史を辿ろうとしたと、両者を混同することは、正確と見なされ、その誤を指摘するところは、1950年代から1960年代にかけてアメリカ社会で生じた重要変革の流れをより正確に見据えることが可能にしてくれるというものである。

同書は、その時期の音楽史と文化史が一定の相関関係を持っていたと想定され、その相関性の本質を探り、そこから生まれた文化を分析・検証し、加えて、1970年代以降の行方を追跡するという内容になっています。



【YU-PRSS(ユープラス)とは?】「キャンパスライフ」、「ワイユウインフォメーション」の制作に携わる山口大学広報学生スタッフです

YU-PRSSメンバー

奥江 那津子 / 佐々木 希実 / 久保田 法康 / 入江 貴博 / 西本 英 / 長岡 純樹 / 溝口 明吾 / 河島 あかね / 前田 梨乃 / 宮崎 優一 / 石井 希平 / 中島 真由 / 堀村 ひとみ / 長岡 真大
倉増 沙弥 / 田原 雅大

■追加メンバー募集中!

主な任務は、山口大学のホームページにて毎週更新されている「キャンパスライフ」ページの作成と山口大学広報誌「ワイユウインフォメーション」の制作補助です。取材・撮影・記事執筆といった、企画・編集業務に興味のある方、一緒に活動してみませんか? 詳細は下記アドレスまでメールしてください。

■感想、取材依頼などお気軽にメールしてください!

今何についての感想や、今後こういった特集はどうだろうといったアイデア、こんな人を取材して欲しいといったご要望も受け付けております。また、「私たちを取材して欲しい」といったサークルやグループも大歓迎です! たくさんメールをお待ちしています。

E-MAIL: campus@yamaguchi.uac.jp キャンパスライフURL: http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/compass_life%20_web/

「志」つなぎ 伝える
二百年



— 創基 200周年 —
山口大学

～2015年に山口大学は創基200周年を迎えます!～

YU-INFORMATION
2012 JULY No.108

山口大学広報誌